

釣り

Bブロック 全作品と講評

www.columnland.net/

にて作者さん＆読者さんの声実況中

釣りにおける生態ピラミッド

久しぶりに外に出れたと思ったたら針にさされて水責め

餌

頭をさされる奴や体に針を通されるのまで色々

ご飯を食べようと思ったたら上に引っ張られる

魚

最近は逃がしてもらえるけど傷が痛い

魚が釣れて上機嫌で料理もしちゃう

父

全部終わると疲れ果てて爆睡

料理がなくてらくちん

母

ちゃんと魚も買って

来てあります

「今日の天気は晴れ時とききえさ。過しやすいい日でしょう。」

それでは、いつてらっしゃい。」

寝ぼけた耳で、変な予報を聞いた気がした。

晴れとききえさ

まだ覚醒しきっていない頭を起こしつてテレビを見ると、お天気お姉さんが笑顔で手を振ってくれていた。いつもは手を振ってくれないような…。ふと画面左上を見ると、そこには絶望的な数字が並んでいた。やばい、確実に遅刻だ。

どたばたと支度をして、俺は家を飛び出した。全力で飛ばせば出席にはなるかもしれない。パニック気味にそんなことを考えていた思考が、自転車で家の前の通りに出た瞬間に停止した。…なんだこれ。

細い道にいろんな種類の食べ物が落ちていた。しかもどう見ても学食のメニューだ。鮭定食、かつ丼、カレーライス、うどん、等等。一体何のいたずらだろうと思ひながら自転車で徐行していき気がついた。どうやらみんな食品サンプルみたいだ。スパゲッティから垂直に箸が伸びていたのだ。じゃあ、これは学食にあったサンプルを誰かが持って来たんだろうか。なんとなく学食のことを考えた俺は、学校のことを思い出して現実に引き戻された。出席がやばい、急がなくては。

学食サンプルの間を全速力で通り抜けて、通りの角を曲がると、再び俺は徐行しなければならなくなった。今度は道端に器に盛り付けられた本物のラーメンが道に点々と置いてあったのだ。ご丁寧にも全ての器がレンジと箸付きで。

香ばしい醤油の香りに、ふと朝何も食べていないことを思い出す。今日の昼はラーメンにしようかなどどうでもいいことを思ひながら、ラーメンにぶつからないように注意して進んだ。

二連続で変なものが落ちていたので、次も何

か来るかと思ったが、次の角を曲がった先には何もなかった。安心してスピードを上げようとすると、背後から何か落ちた音が聞こえた。振り返ると、そこにはハンバーガーが落ちていた。そして次の瞬間、頭に柔らかな何かが当たった。何かと見てみると、またハンバーガーだった。あわてて空を見上げると、雲ひとつない青空から、大量のハンバーガーが降ってくるのが見えた。思わず叫び声をあげながら、俺は全速力でハンバーガーの嵐から逃げた。

どうにかハンバーガーの降ってこないところまで駆け抜けた頃には、かなり息も切れていた。あれは一体何なんだ。数分前とは別のパニックに陥ったまま次の角をまがった俺は、とうとう自転車を止めざるをえなくなった。今度は一体の良く出来たマネキンが転がっていたのだ。裸のままのマネキンが道をふさいでいるという状況に戸惑っていると、マネキンの首が変な音を立てながらこつちを向いた。そして、合成したようなアニメ声で笑い声をあげた。

俺はついに全速力で学校と反対方向に走り出した。出席なんて知るか。自主休校だ。こんな変な日に学校に行くなんて無理だ。来た道を戻ったはずなのに、そこに落ちていたはずのものはなかった。どうにか家にたどり着くと、家の前に誰かの財布が落ちていたのに気がついた。拾ってみると、中には結構な額が入っていた。俺は無意識にそれを懐にしまっていた。と、次の瞬間、俺は猛スピードで空へと舞い上がった。視界が暗くなっていくなか、自分の体が謎の円盤に吸い込まれるのが辛うじてわかった。

「才母サン、ヤット釣レタヨ。」

「アラ、食べ物モ異性モ駄目ダッタノニ、才金デ釣レルナンテ、人間ハ欲深クナッタノネエ。」円盤の中でそんな会話を聞いたのを最後に、俺の意識は途切れた。

昼下がりの嘆き

わたし、釣りって大好きやわ〜

なんでって？

そりゃぼんぼん釣れるから

いやいやいや、そんなムズくないって

地元でも簡単にできてたし

いや、大阪でも簡単やねんて！

分かった。じゃこうしよ。

教えたるから今度東京来たらええねん。一緒にやろー

なんでって東京が一番ラクやからに決まってるやん！

あそこほど単純な男ばつかなところはないうって！

キャハハハ…

カフェで彼女を待っていた俺は、ケータイで話す女の会話を聞いて芽生えていた疑惑を確信に変えることとなった。

関西弁を話す彼女がすごくかわいかった。そして付き合うようになって、始めはすごく楽しかったけど最近はあまり会おうとしてくれない。もう2時間も待ってるのに…

…………俺も釣られたんだな

私は魚です。

ちょうどこの時、私は釣り針に引っかかった。
二回目でした。

一回目は数日前のことでしょう。
その時すぐ返してくれた。
すぐくラッキーだと思うので、うれしかった。
この世の中で、いい事って少ないよ。

小さい時泳ぐのが苦手で、仲間たちにからかわれた。
頑張って水草で作った巣が津波で壊れてしまった。
そのときすぐく好きだったポニョ姫が人間に
なってしまった。

……

でも、あの返してくれた瞬間を思い出せば、
私は奇跡が絶対起こるって信じられた。

今、再び、死ぬかもしれない。
いったい希望か、絶望か。
怖くて、祈っていて……

突然、人間の声が聞こえた。

「やっと大きい魚が釣れた！」

釣り

ほくにはたぐさんの兄弟がいます。

ちょっぴりキシィとくるから

とっても広いところにみんなと一緒に出てきました。

それからみんなと一緒に大きくなりました。

さいきんはごはんを食べるのもたいへんなくらいです。

そういえばこのまえいいことがありました。

とつぜん大きなたべものが上からおちてきたんです！

みんな食べようとしましたが

いちばん大きいやつがたべちゃった。

たまにはゆずってくれないのになあ…

でもそのあと、あいつ、上のほうにいつちゃった。

なんでだろう？

あ！

今日もおちてきた！

今日こそほくがとるんだ！

あ、でもまたあいつに…

ん？きょうはあいついないじゃん！

よし！チャンスだ！

あーあ。

今日のはハズレだな。

この前のやつはデカかったのに…。

書類の整理もした。美味しいものも食べた。手紙も書いた。

とりあえず、これで一息つけそうだ、そう一人呟き、部屋の中央に腰を下ろした。

何の気なしに、ぐるりと部屋を見回す。使い古した家具たち。よくよく見れば、傷だらけで、愛着のある家具たちだ。

ふと、棚の上の写真立てが目に入った。ひどく懐かしい、自分と妻と娘の写真だ。

この時は確か、家族サービスと称して近くの湖に釣りに行ったんだっけか。はじめは、

「パパの趣味でしょ」と言って渋い表情をしていたが、最後には写真のようにはにかんだ笑顔を見せてくれたな。この頃はまだ、小学生だったろうか？

……写真の娘の顔がゆがむ。まぶたが熱を持っているのを感じる。

もう、写真を直視できなかった。

私は静かに写真立てを閉じ、写真立てから顔を背けた。

顔を背けた先に、なぜか光を感じた。閉じたカーテンの端から光が漏れている。

いつの間にか、もう夜明けか。そう思い、大の字に仰向けになって、静かにまぶたを下ろす。

……どこからか、聞こえてくる

人の足音

扉の閉まる音

水の流れる音

どれも、今まで私が過ごしてきた日常そのものだ。不思議と懐かしさがこみ上げる。

胸の重さを取り除くように、ゆっくりと、大きく、深呼吸をしてみる。

——— 少しでも、気分が晴れた気がした。

……そろそろ、いくか。そう言っ私は、機械的に立ち上がり、天井を見、固く結んだロープを見、踏み台の前で立ち止まった。

ゆっくりと、まるでスローモーションのように、片足ずつ、踏み台の上に乗せる。

不思議と、心は落ち着いていた。恐怖心も無かった。

ただ、残される妻と娘を思うと、つらかった。

しろすの魚拓



スーパーマリオワールド

じゅげむじゅげむ 大きな大亀

雲に乗りたる ニクイ奴

糸に垂らすは緑のキノコ 取れるものなら取ってみな！

しめしめ馬鹿な赤ぼうし 釣られてノコノコやつて来る

奴がキノコにつられた所で 必殺トゲ弾お見舞いだ。

足は固いが頭はお留守 たまらずやられる赤ぼうし

今に見てろと赤ぼうし 怒りに燃えて反撃するも

じゅげむじゅげむは雲の上 火球は上に飛んでかない

自慢のジャンプも届かない。

「へへん、しよせん地面にしがみつくヒゲじゃ、おいらを倒せないのさ。」

相手を見下す じゅげむじゅげむ

しかしヒゲも黙っちゃいない

なにかないかと思案をし 空飛ぶブロック見つけ出す

これはしめたと赤ぼうし 空に浮かんだ台に乗り

空から必殺踏みつぶし

油断大敵 注意警報

赤色上から現われて ふまれて雲から急降下

『飛べないじゅげむはただの亀だ。この雲はもううっせ』

雲をパクル赤ぼうし

じゅげむじゅげむ 地面にころがる

雲をなくしたただの亀

赤は優雅に空中飛行

雲で空を飛びまわる。

釣りのすゝめ

木々に囲まれた湖にあなたは一人、佇んでいる。
窮屈な日常とは違う静かな世界。

そこには森の香りが漂い、

耳を澄ませば小鳥のさえずりが聞こえてくる。

誰もあなたの邪魔をしない、完全に一人の場所。

何をしよう？

何もしなくていい。

何もする必要がない。

ただその場所にいるだけで多くのことを感じられる。

ふと、湖で魚が泳いでいることに気づく。

伸び伸びと、悠然と、そして優雅に泳いでいる。

釣りをしよう、そう思つて来た筈だった。

だがこの魚を釣つてしまったら泳いでいるのは、

もう見られない。

またいつか釣りに来よう、そう考え直し魚を見つめる。

魚はまだ優雅に泳いでいる。

私も一緒に泳いでみたい、

そうすれば全てを忘れられる気がする。

ふと空を見上げると夕焼けが見える。

空が赤橙に染まる。

まるで太陽が命を振り絞つて輝いているようだ。

命の輝きは美しい。

もう少し頑張れそうだ。

そろそろ皆のいる家に帰ろう。

青春の「ページ」

バレたら終わりだ

獲物に気づかれないようにそつと背後に針を垂らす

..... かった！

俺は無心でリールを巻いた

ぬうおおおおおおおおおお！

あれから何分たっただろうか

俺らは仰向けになり晴れ渡った空を見上げていた

俺らは獲物の色で賭けをしていた

光善は欲望の紫 祐介は青春のピンク 恒佑は情熱の赤 大作は大人の黒
そして俺は純情の白

だけど誰も当てることはできなかった

俺らが見たもの

それはめくれ上がったスカートからのぞく
ふっくらとした肌色の桃だった

空を見上げる俺らの鼻からは
一筋の赤い液体が流れていた

仕事つてもんは、

今日は曇りだ。波も少し荒い。さんさんと照りつけ体力を消耗させる太陽がないのはありがたいが、船の甲板にはひっきりなしに海水が流れ込み、親父譲りのこの小さな船はたたきつける波によって濡れ鼠だ。

それでも負けじと沖へ出る。大型船は一度に大量にとれる利点はあるが、その大きさのせいで小回りがきかずベストスポットにピンポイントでは行きにくい。そこを狙うのが俺たち個人漁業者だ。

今日は波が荒れているからいつもより深めのやや波も安定したところに碇を降ろす。撒き餌をまいてここからが本番だ。静かに体温が上がっていくのを感じながら釣り糸を垂らした。

網でやる釣りつてのには未だに抵抗がある。魚同士がぶつかるから打ち身が多いし、鱗もはがれるから見た目も悪くて鮮度も落ちる。

そんなことを考えながら一匹、また一匹と釣り上げていく。最近は体力の衰えを感じるものの、さすがに五十年以上培ってきた勘と経験は俺のプライドを保つに十分な結果を残してくれる。今日も天候の割に満足のいく漁になりそうだ。

言っておくが漁師だから魚が好きだなんだと思われがちではあるが、俺は魚が好きでも釣りが好きでも、ましてや漁師って仕事が好きなのでも何でも無い。たまたま親父が漁師で、たまたま他にやりたいって仕事もなく、たまたま東京に出るには金も頭も足りなかったただけだ。この仕事の楽しみなんて自分の釣った魚に舌鼓をうって、お前は今日も良くやっとなってちよつとだけ自分をほめて一杯やるくらいしかないもんだ。

それでもいままで五十年、なんだかんだで母ちゃんよりも長いつきあいの腐れ縁だ。

もう少しぐらい付き合ってやるのもまあいいか。

買い物をするとき

お金を余分に払うと

お釣りが帰ってくる

満ち足りすぎた生活には

環境問題というお釣りが帰ってくる

行き過ぎた資本主義には

心の空虚というお釣りが帰ってくる

でも

あの人をどんなに好きになっても

なにも帰ってこない

コンテスト結果

[Aの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
A01	そら	5 pt 梅雨の気分先取りのじめじめ感が、「うざったい」の表現でストレートに伝わってきます。 だからこそ、ラストにぽっかり広がる「あおいそら」がまぶしく映える今週の表紙でした。特別賞に出るように、ひょっとして掛詞だったか？そこがヒットして最多特別賞でしたっ。祝！ 特別賞：蒼井そら賞（自然にこういうことを書けるのがすごい）僕たちも今日はあおいそらにいやされたいで賞（総意）AV（あぶ）ないで賞（あおいそら） イチオシフレーズ：「あおいそらが癒してくれた」×3	8 位	3 sp
A02	川釣りと父	7 pt 父を思う娘の気持ち。しみじみなつかし焼き魚気分 で、ずっと引き込まれるトークです。 ドラマティックなことは何も起こらない。そこがいい。 もうすぐ父の日だなあ。	5 位	0 sp
A03	無題（死を司る者の……）	1 pt 釣り人と見せかけて、なんと死神サマのご降臨。 なるほど、今日び死神サマたちも集団でお仕事をなさるのですね。人口、多いからね。 「偶然」か「運命」かなんて、セリフ回しもぴしりと効いて、命を釣る側の気持ちをあざやかに造形していただきました。 ラストの「挟持」が、ちと、むずすぎたか。 イチオシフレーズ：「俺が釣り上げたのは偶然かもしれねえが釣られた方は運命だったんだ」「死を司る者の挟持」×2	12 位	0 sp
A04	決め台詞	15 pt わはははは。ドン引きぶりまざまざと。妄想乙！ コンビニお釣りシーンは、今回ずいぶんと多かったのですが、話運びの軽快さと妄想の飛びぶりで際立ってました。やったね銀メダル、おめでとう!! 特別賞：ドン引きで賞 夢を見過ぎカブリ過ぎで賞（79 と共同受賞） イチオシフレーズ：「そのお釣りあげるから、今夜僕に釣られてみない？」×2	2 位	2 sp
A05	無題（真珠星）	4 pt お星さまに導かれて。 きれいな、少し悲しいストーリーです。 その悲しみを、天の川で遊泳（？）というシーンののびやかさで包んだところが、ここちよい。しっとりと浸れました。 特別賞：見守っているで賞（話の構成が上手かったか	9 位	1 sp

		ら)		
A06	ザ・社説	14 pt	3 位	1 sp
		ツリガネソウを攻めてみたアイディアに星みつ。 天声人語風のカッチリしたまとまりに星ひとつ。 政治批判をもう少し型通りでないおさめかたにしていた だけるとなお良いかな。「国民のため」と「政争の具」という2つの魚を同時に釣ってみせるのが、プロの政治家たるものの腕の見せどころだと思うのです。 今回は硬派で攻めて、しっかりブロンズメダルゲットの作者さん、おめでとう!! 特別賞：毎○新聞賞（上手い!!）		
A07	お釣り	6 pt	6 位	1 sp
		ささやかな一日の始まり。 誰でも経験ありそうな。 どんなおねえさんだったのか、読者の想像に任せすぎずに、あとひとことだけあってもよかったか。 特別賞：天津木村みたいで賞（今夜いけそうな気がするから）		
A08	釣り男	17 pt	1 位	2 sp
		わあん、グロだグロだ。お食事前になんてこと！ でも、そのグロをおもしろく飲み込ませてしまうのは、展開のテンポの良さと、「むしゃむしゃ」「ぱくりぱくり」と合いの手をつとめる擬音たちの賑やかさ。 人間の業（ごう）の深さ、なんていう大テーマを果たして作者さんが意図しておられたかどうか？ たしかに、生きるというのはそれと引き替えに何かを差し出してゆく、ということなのかも。かも？ 練り込んだストーリーも表現も、しっかり評価してもらえて、おめでとう金メダル!! 特別賞：グロいけど深いのかもしれないで賞（まじょコメントより） グロテスクで賞（ゾクゾクするグロ表現よく書いたな!!）		
A09	ある日の夕方	3 pt	10 位	0 sp
		トンデモ勘違い。 この作者さんの巧さは、一人称トークなのに、しっかり客観的に勘違い君の姿が見えてくるところでしょう。 「もちろんシャツはズボンに」とかね。さりげなくすぐに爆笑でした。 イチオシフレーズ：「あっ、ふ、ふく、袋はいいでしゅ。」×3		
A10	魚は釣れなかった	9 pt	4 位	1 sp
		がんばったぜいヨッコヨミ。 ふくらはぎオチ、ナイス！ ほらこう、タテにしてみるとふくらはぎに見えてこない？ 特別賞：ひらがなはワカリニクイで賞（後から気付いたから） イチオシフレーズ：「ふ、ふくらはぎ」×2 「ふいつしんぐつれない時はまつノも大じ」		
		6 pt	6 位	2 sp

A11	5日目	なるほど「コイキング」ですか、そうですか。 どんなキャラだっけ、と各班で話題になる親しみやすさでした。 でも、やはり既成キャラに頼っちゃってるのは弱いな。 留学生さん作品も登場してますし、グローバル、目ざしてくださいな。 特別賞：なつかしいで賞（コイキングなつかしい〜） はねる賞（コイキングは滝登りも覚えさせるとギャラドスに進化する……わけない。で微妙に盛り上がったから） イチオシフレーズ：「コイキングを釣り上げた。」
A12	恋漁船のデュエット	3 pt10 位2 sp 恥ずかしいセリフも歌だからヘイキ？ いや、やっぱり恥ずかしい。 そこを強引に突破していただきました。 それにしても、こ〜んなにべったべたのおふたりさんなのに、3年半も経って、まだ婚約中？ そこがとっても気がりです。 特別賞：意味不明賞（意味がわからない）歌謡賞（釣られました）

[Bの部]

コラム番号	コラムタイトル	点数 まじょコメント	順位	特別賞
B01	釣りにおける生態ピラミッド	5 pt	6 位	1 sp
		おお、母最強。さすが。 きれいに字数を揃えて、生態系として見せていただきました。 特別賞：釣りというよりツリーだよね賞（かたちがピラミッドというよりツリー） イチオシフレーズ：「母」		
B02	晴れときどきえさ	22 pt	1 位	1 sp
		宇宙人の釣り。なんてユニークな。 日常の地続きに、ぼろんぼろんと学食サンプルやらマネキンやらを転がして秀逸なラストへ。 各シーンの映像的な見せ方のうまさになりました。 がっつり書いたのに、しっかり読んでもらえて、おめでとう金メダル!! 特別賞：マネキンはNGで賞（マネキンじゃ釣れないよー）」		
B03	昼下がりの嘆き	1 pt	11 位	0 sp
		カフェの隣の席から聞こえてくる別のドラマが自分に重なる。 そうして少年は、またひとつおとなになってゆくのでした、と。 コンパクトにまとめてナイス。		
B04	無題（希望と絶望）	0 pt	12 位	0 sp
		構成が良いですね。今度はどっちになるのかなあと気になりつつ終わり、とすることで、読者が釣られた魚の気分になれます。 留学生さん発の日本語でした。あたたかな拍手をありがとう。		
B05	釣り	3 pt	10 位	0 sp
		ぼくの無邪気な幼さが文体にしっかり出ています。 釣り堀かなあ？		

		人間セリフの置き場所、もっと上にしたかった。
B06	無題（首つり）	5 pt6 位0 sp わー、お父さん、だめーと娘の気分になって止めたくありません。 それくらいに、ずっと感情移入できてしまうのは、これを決行するに至った経緯が何も書かれていないおかげかかもしれません。 面倒なストーリーを省いて、気持ちの揺れだけにフォーカスした作戦成功。
B07	しらすの魚拓	15 pt2 位7 sp 本文1文字。しかも記号。な、な、なんて大胆な！ しっかり楽しんだフロアも偉い。とくに黒川紀章の似顔絵まで添えたB-10班グッジョブ！ シルバーメダル&最多特別賞&イチオシフリーズ大賞ですっ、おめでとう!! 特別賞：日乃賞（一文字） ガチですごいで賞（発想が天才） the視界デザイン賞（アイディア押し theでした。） 黒川紀賞（位置、構図、発想において良しと判断（笑）） しらすで賞（しらすだから）×2 発想は素晴らしいが負けてくやしいで賞 イチオシフリーズ：「、」×8
B08	スーパーマリオ○ワールド	4 pt8 位2 sp テレビの幼児番組のような、賑やかな楽しさでした。 大多数の人にとっておなじみであろうゲームの世界を別視点からコトバ化。 リズムの良さとイメージのあざやかさが身上ですね。 そして、ここ重要！ マリオ（←伏せ字にしません）を全く知らなくても、楽しめます。A-11「コイキング」との違いです。「みんな知ってるよね」ネタで攻める場合は、ぜひこのラインを目ざされてください。 特別賞：作者はゲーマーで賞（リズムがすごくよかったから。） Bダッシュ賞（マリオでラップふんでる。）
B09	釣りのすゝめ	4 pt8 位0 sp えーと、薦める？ >タイトルそこがやや疑問。 でも、釣ったら見られない、そのやさしい気持ちそのままの流麗フォントで、しっとりお届けいただきました。 イチオシフリーズ：「命の輝きは美しい」
B10	青春の一ページ	8 pt5 位3 sp おーい、ガキどもよ、それって犯罪だぞー!! これだけ期待させておいて、作者不在って、もしや逃亡？ しらすにはリードを許したけれど、特別賞もイチオシフリーズもこんなにいただきました。めでたしめでたし？ 特別賞：ノーパン!?賞（被害者の女性の方が犯罪かもしれません） すけべ賞（青春時代のすけべな部分が露呈されていてよかったから。） 俺はcoolな水色が好きで賞（男は黙って水色） イチオシフリーズ：「大人の黒」「ぬーおおおおおおお おおおお！」×2 「ふっくらとした肌色の桃」 ☆そしてだいじな後日談☆ お茶会に作者さん降臨。ねぼー、と主張しておられました。もちろん作者さんトークをお願いしました。「勇者だねー」とその場のみなさまに祝福されていたような。
		10 pt4 位1 sp 個人営業漁師さんに託して、ささやかな人生へのいとお

B11	仕事ってもんは、	しみと誇りを披露。 五十年の時の重みを、重々しくないトークで、さっくり。 「静かに体温が上がっていく」なんて、ほんとに主人公に寄り添った気持ちにならないと出てこない表現でしょう。なりきり具合がおみごとでした。 特別賞：海の漢賞（かっこいい） イチオシフレーズ：「もう少しぐらい付き合っやるのもまあいいか。」
B12	無題（何も帰ってこなかった）	13 pt3 位0 sp ネタと見せかけて、じつは人生の大問題への深い問いがひそんでいるような、いないような。 「心の空虚」すら帰って来ない無償の愛はありうるか？ ラストセッションのその日まで、ふかーく心に沈めておきたい今週の読み納めでした。 おめでとうブロンズメダル！